

広報たしろ

No. 295

昭和53年4月号

田代町総務課編集

1,600部発行



新入生元気に登校

小学生の新しい学生服をきた新一年生が、お母さんに手を引かれて元気に登校してきました。

新しい生活への希望と期待を胸に、やがて中学生に、高校生に、そして社会人として将来の日本を背負って立つ人間に。私たちは、この一年生をあたたかく、また厳しい姿勢で見守り育てなければなりません。

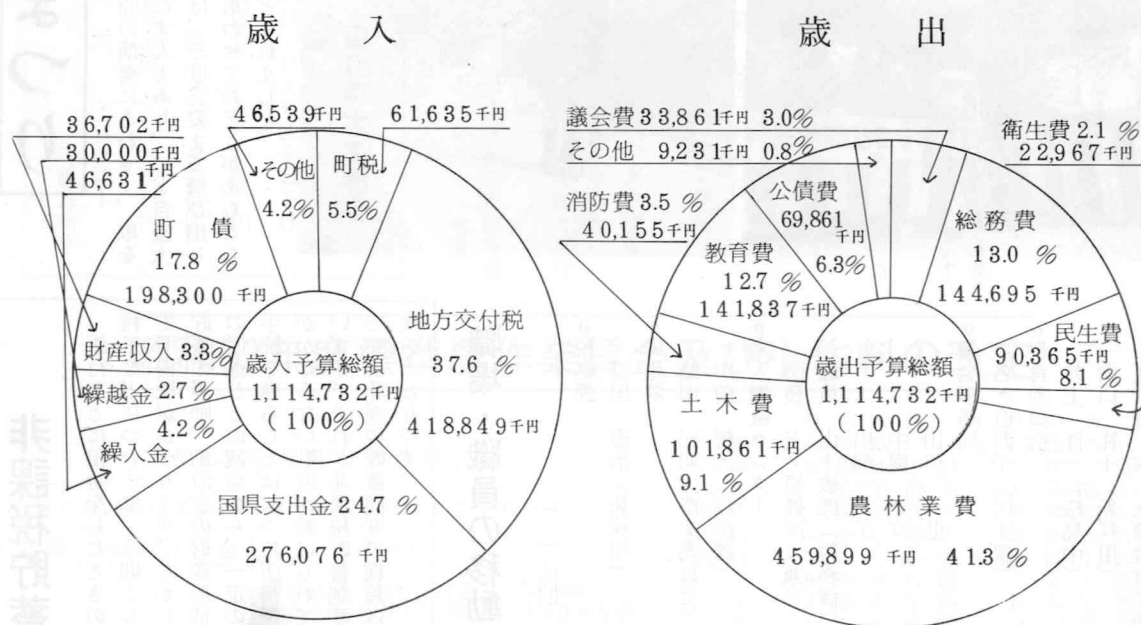
四月の行事予定

- 18日(火) ツベルクリン注射(田代小・中)
- 20日(木) 町体育協会理事会
- 24日(月) BCG(田代小・中)
- 24日(月) 田代中修学旅行(24~26日)
- 26日(水) 農業委員会
- 27日(木) 町教育総会(田代小体)
- 28日(金) 町春季畜産品評会

四月二十五日

奥花瀬マス釣場釣場開き

昭和53年度各会議案20件を



五十三年度の主な事業

1. 広報無線設置事業 一六、七〇〇千円
 2. 公有林整備事業 一四、〇七五千円
 3. 集団茶園造成事業 五、七〇〇千円
 4. 池野林道開設事業 九、六〇〇千円
 5. 農林道整備事業補助金 三、〇〇〇千円
 6. 平原地区県道疎基幹農道整備事業 一七、〇〇〇千円
 7. 中央運動場ナイター施設 一五、〇〇〇千円
 8. 町道改良舗装工事 五一、一一〇千円
 9. 農林道整備事業補助金 三、〇〇〇千円
 10. 平原地区県道疎基幹農道整備事業 一七、〇〇〇千円
 11. 武道館建設事業 三八、〇〇〇千円
 12. 防火水そう整備事業 三、六〇〇千円
 13. 池野林道開設事業 九、六〇〇千円
 14. 平山地区かんがい排水施設整備事業 一二、二〇〇千円
 15. 雄川地区農道整備事業 一七、三〇〇千円
 16. 農村基盤総合整備事業 八四、九〇〇千円
 17. 山村振興事業 一五四、〇三〇千円
 18. 農村振興運動事業 一二、一六〇千円
 19. 新農業構造改善事業 七〇、二五〇千円
- 納税に御協力を

四月は

固定資産税

軽自動車税

の納期です



計予算等 可決

3月定例議会

昭和五十三年三月定例議会は去る三月十日に招集され、十九日の会期で開かれ、各会計予算など二十一議案が上程され、昭和五十三年度の町長の施政方針並びに提案理由の説明がなされ、それぞれ慎重に審議された結果、二十の議案が原案どおり可決された。なお、川原保育所の民間移譲については、継続審査になり、今後の議会において結論がでることになります。成立した主な議案は、次のとおりです。

◇町長等の給与に
関する条例の
一部改正する条例

三役の報酬が昭和五十二年十一月一日から次のように引上げられました。(一)は旧

- 町長 三八八、〇〇〇円
- 助役 三〇一、〇〇〇円
- 収入役 二八六、〇〇〇円
- (二六、〇〇〇円)

◇報酬及び費用弁償
等に関する条例の
一部を改正する条例

議会議員の報酬が一月一日から次のように引き上げられた。その他特別職(行政委員会委員

区 分	単 位	使 用 料	
		町 内	町 外
夜間照明	ソフトボール用	1,000円	2,000円
施設	庭球用	200円	400円

1. 1時間を超える場合は30分(30分未満は30分とする)毎に2分の1の使用料を加算する。
2. 2団体が同時に使用する場合は、それぞれ規定使用料の2分の1の額とする。

等)の報酬についても四月一日から、約八パーセント引上げられた。

○議長 一二九、〇〇〇円
(一一八、〇〇〇円)

○副議長 一〇二、〇〇〇円
(九三、〇〇〇円)

○委員長 九一、〇〇〇円
(八二、〇〇〇円)

○議員 八七、〇〇〇円
(七九、〇〇〇円)

◇体育施設の設置及び
管理に関する条例
の一部を改正する条例

本年度計画されている夜間照明施設について、利用者から次の使用料を徴収するものです。

歳入歳出予算の状況

会 計 区 分	53年度当初	52年度当初	比 較	前 年 比
一般会計	1,114,732千円	906,766千円	207,966千円	1.229
国保会計	204,402千円	178,784千円	25,618千円	1.143
水道会計	11,629千円	12,387千円	758千円	0.938

◇老人福祉センター
管理条例

三月末完成した老人福祉センターの管理運営について必要な事項を定めたものです。

一般会計予算 農林業重点に

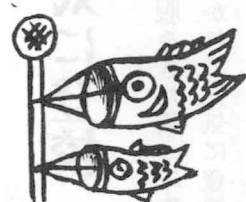
昭和五十三年一般会計当初予算総額は、一、一一四、七三二千円で、前年当初に比べ二〇七、九六六千円の増となっています。

これらの内容については、次表に示すとおりです。

次表により歳入をみてみると、地方交付税が全体の四割近くを占め、これに国庫支出金を加えた約七割が国庫に依存している財源で、町自体でまかなえる財源は、三割程度に過ぎないことがわかります。

三割程度の中でも、国から借り入れをする町債が約二割を占めていますので、実質一割ということになります。

歳入においては、農林業費が全体の四割を占め、新年度予算に於いては農業の振興に重点がおかれていることがわかります。





昨年十一月十八日着工した老人福祉センターは、請負者「桑原組」により、この三月末完成しました。

老人福祉センターは、教育委員会事務局の裏側のところに鉄筋コンクリート平家造、建物面積五六五平方メートル、工事費五七、三〇〇、〇〇〇円で建設されました。

この施設は、老人に対して各種相談、健康の増進、教養の向上、レクリエーションのための総合的な施設で内部構造も近代的施設が整った立派なものです。オープンされたのちは、お年

老人福祉センター完成

よりの憩いの場になり、余生を楽しくすごされる事を期待します。

老人福祉センターの業務について

四月十四日 オープン
四月十七日 事業開始
浴場 毎週月水金とし、
月曜日 川東・川西・花瀬
各永寿会
マイクロボス三往復
水曜日 麓下・麓上永寿会
マイクロボス麓上だけ
一往復
金曜日 大原下・大原上永寿会
マイクロボス二往復

田代町大工組合

四月一日より賃金ね上げ
責任者 七、〇〇〇円
一般 六、五〇〇円
七年未満 六、〇〇〇円
時間 午前八時～
午後五時半

昭和53年度標準農作業賃金及び小作料の改定

昭和53年度農作業標準賃金

1日当たりの農作業賃金	男3,000円 女2,100円
茶摘み賃金	1日 2,100円
水田賃耕料金	耕起のみ(10アール当り)5,000円 (水田車輪使用の場合は1,000円増)
	整地のみ(10アール当り)5,000円
	田植機料金(10アール当り)5,000円
	稲刈機料金(10アール当り)6,000円
	脱穀料金 米・麦1俵当り500円
畑作耕料金	早期水稲箱苗作り(10アール当り)7,500円(種子代含む)
ワラ料金	整地のみ(10アール当り)5,000円
	ひとしめ約12束程度 500

三月十七日の農業委員会で、昭和五十三年度の農作業標準賃金が、次のとおり承認されました。

一日当りの労働時間は、午前八時から午後六時までとし、そのうち休憩時間を二時間以内とするようになりました。

標準小作料は、昭和五十三年度に改定されました。

田代町農業委員会

田代町も次のとおり改訂いたしました。

◎標準小作料

一、水田

上 一八、〇〇〇円
中 一四、〇〇〇円
下 九、〇〇〇円

二、畑は設定しない。

野鳥を守ろう

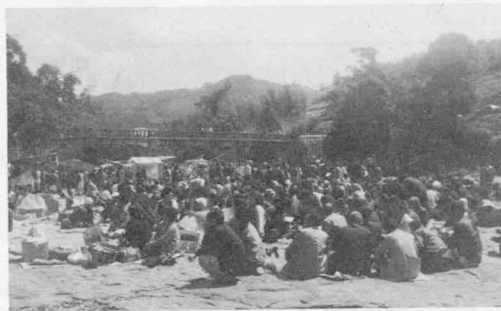
田代町野鳥を守る会
会長 五石 常造
各同好会一同

町民のみなさん、わが田代町の野鳥は大変少なくなりました。特にひばりは、十年前から全たぐいすは、ねながらに聞いていた昔にくらべ、最近では山でしか聞かれません。はおじろのかん高い声もめったに聞かれなくなりました。このままでは、われわれの子供や、孫の時代には、動物園にでも行かなければ、見ることも聞くこともできない事態になり兼ねないと思われまます。みなさん、われわれの時代にこの美しい自然と野鳥を守り、のどかで楽しい郷土を築こうではありませんか。

私も、野鳥を守る会を拡大強化してこの運動を推し進めるために御協力を願っております。有志の方は、男女を問わずわれわれの会に多数御加入下さる様お願いいたします。

申し込みは、役場総務課田代さんまで、口頭でも電話でも自由です。

花瀬公園まつり



今年の花瀬公園まつりは、強風が吹きまくる寒い中で行なわれました。午前九時半、恒例の一周駅伝がスタートし、七区間二〇・八キロメートルを十二チームが競いあい、盤山チームが一時十七分五秒で優勝し、二位猪鹿倉青年、三位鳥淵青年が入賞し、選手の懸命な走りに沿道の人々のおしめない拍手が聞かれました。

午後から園芸が行なわれましたが、出店が開かれ約三千人の客がおとずれ、国分音楽隊やグリンカントリークラブのなつか



しい曲の演奏にあわせて、歌を歌いだす人もあり、のど自慢大会では、三度笠姿まで飛び出し歌にあわせておどりがあちこちでおどられました。

非課税貯蓄のあらまし

銀行などに預金をしたときの利子などについては、原則として所得税がかかります。しかし貯蓄の奨励、勤労者の財産形成の促進などの観点から、一定の手続を執ることによって所得税がかからない制度が設けられています。それが非課税貯蓄制度です。非課税貯蓄制度の種類は次のとおりです。

職場・職員の移動

() は旧

- 税務課 安田 憲治 (新採用)
- 民生課 鮎川 紀明 (農業委員会)
- 老人福祉センター 所長 上ノ原鉄次 (兼)
- 議会事務局 山下敏郎 (税務課)
- 教育委員会 職員 川前ツタ子
- 井上 洋一 (桜島中)
- 山口 礼子 (新採用)
- 久木野 求 (派遣教育主事)



井上洋一さん 久木野求さん 山口礼子さん 安田憲治さん

- 郵便貯金 元本三百万円まで
- 住宅積立郵便貯金 元本五十万円まで
- マル優預金 元本三百円まで
- 特別マル優国債 元本三百万円まで
- サラリーマンの財形貯蓄 元本五百万円まで

ごみは正しく分類して出しましょう

- ① 燃えるごみ 食品の残り物・ビニール容器紙くず・プラスチック類
 - ② ガラス類 空ビン・ガラス等
 - ③ 鉄くず類 空缶・針金等
- この分類が最近悪くなっているようです。今後分類のされていないものについては調査することもありますので分類は正しく、又、次のことも守ってください。
- テレビ等は、木・鉄・ガラス等に分解して出しましょう。
 - 必ず一人ずつ持てる量、形にして出しましょう。
 - 必ず袋に入れ、口をとじて出しましょう。
 - 大型の不用物は自分で処理しましょう。
 - ごみは必ずきまった日の前日か当日の八時までにきまった場所に出しましょう。
- 集荷をした後に持つて行く人がないように、みんなで気をつけましょう。



田代町版画作品 移動展入賞者

昭和五十二年度の町内小中学校児童生徒の版画作品の審査を去る、三月十日(金)おこないました。	
特選の部	
一年 (小学校版画)	なかぞの くにひろ (田代小)
へしきり かずゆき (田代小)	にしくば まこと (田代小)
ひらいし まき (田代小)	こながの よしひろ (大原小)
なかむら ひろこ (大原小)	二年
いがくら ゆかり (田代小)	かわじ ひろあき (田代小)
藤崎 成博 (田代小)	小園 夏代 (田代小)
ありま ちえ (大原小)	なかむら まさこ (大原小)
三年	宮前 茂 (田代小)
近川 ゆかり (田代小)	河野 志保 (田代小)
堀野 ゆかり (田代小)	中野 小百合 (大原小)
川辺 みどり (大原小)	田ノ脇 裕 (田代小)
牧原 克幸 (田代小)	小園 昌彦 (田代小)
一年 (中学校版画)	
小野 洋子 (田代中)	猪鹿倉 章子 (田代中)
平原 涼子 (田代中)	毛下 ユリカ (田代中)
中島 哲郎 (大原中)	大野 成也 (大原中)
二年	福永 三千成 (田代中)
小榎 尚登 (田代中)	原沢 伸一 (田代中)
舞原 靖代 (田代中)	谷口 明美 (田代中)
柴立 幸男 (田代中)	平岡 香代子 (大原中)
三年	早瀬 慎一 (田代中)
中武 和美 (田代中)	中島 竜作 (田代中)
貫見 洋憲 (田代中)	村山 やす子 (大原中)
宅崎 健次 (大原中)	入選 かわかみ はるみ 外七九名

お知らせ

社会福祉協議会に御寄付くださいました「香典返し及び一般寄付をいただいたお金」が、現在三百五十六万円になりました。その内から老人福祉センターのどんちようを購入いたしました。ありがとうございます。

人口のうごき

(3月1日現在)	
推計人口	基本台帳人口
男 2,172	2,339人
女 2,462	2,556人
計 4,634	4,895人
世帯数 1,458	1,498戸

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

教育だより

五十三年度

田代町教育振興をめざして

教育長 今和泉 一郎

草木の萌えるこの四月、新しい一年生を迎えた各学校は、活気に満ちてスタートされています。

五三年度の新一年生は、昨年度より一二名減で両小学校五五名、両中学校九六名となっています。しかも、田代小学校は、とうとう一学級編成となつてしまいました。

田代町の将来を背負っている子どもたちが、減っていくことのわびしさを思うとき、「太陽の子」運動の実のある推進の重大さを、ひしひしと感ずることになります。

教育は、商品生産とちがいますが、人の生命にかかわるしごとであり、魂をゆり動かさなければならぬ至難のしごとであります。

しかも、今日教えたことが、すぐ身につくものではありません。毎日毎日の努力が、積み重なって、これまでできなかったことができるようになり、解らなかったことが解るようになる

ものなのです。

学校では、集団生活の中で、目標をかげ、それぞれの学年段階に応じて、子どもたちの実態を基にして、根気よく、指導しつづけていきます。

子どもは、親の鏡、師の鏡、といわれるように、子どもを知ることなくして教育は成り立ちません。それでこそ、PTAの活動も大事なわけでありです。

五三年度、とくに気をつけていきたい点は、
一、学校教育の充実をめざしてこれまで築かれてきた校風をさらに充実し、発展させていくために、
(1) 静かで、安全で、美しい環境づくりに努力したい。花のたえない美しい学校、先生と子どもが一体になって、汗を流して花づくりに勤しんでいる姿を。

学校は、校区の文化センターの役割も担っています。

先生方のひとりひとりに

徹底する指導が、子どもたちの積極的な学習、行動への変化を、うみ出すためには、父母たちの、正しい理解と積極的な協力があつてこそ実現されるのです。
(2) 子どもの体力、学力の向上に一だんの研究と実践を進めたい。

田代町の子どもは、体力も、国や県の平均値に及ばない現状であります。とくに、身長、体重が劣り、体力では、走力、跳力などがうんと劣ります。総じて、筋力、柔軟性、瞬発力をつけることが先決であります。

学校ではもちろん、これ等の重点をおさえて、各学校の実態に即してその改善策をうちたてて、指導実践をしていきますので各家庭におかれても、もっと体力をつくることに深い関心と積極的なしつけや指導が必要であります。PTA等では、ぜひその具体策を議題にしてほしいものです。

(3) 礼儀正しい、あとしまつのできる、相手の立場を考え、思いやりのある子どもを育てたい。

田代の子どもは、よくあ

いさつをしてくれる、という美風をさらにのびし、学習でも、しごとでも、運動でも、あとしまつのできる子ども、そして、自分のわがまをいさえ、相手の気持ちを理解し、思いやる心をもつ子どもに育てていきたいと思ひます。

子どもひとりひとりの成長の過程に即応したしつけをしていくことが、このきびしい時代に必須の課題であると考へます。

二、社会教育では
(1) どのお家でも、一日に必ず親子の対話の時間をつくり、その日のできごとをはじめ、子どもの行動や、考え方を正しく理解し、先手の指導ができるように願ひたい。

(2) 自分たちの町は、自分たちの力で守り、豊かにしていくという自治能力を身につけることが大切であると考へます。

そのために、部落公民館が、お互いの研修の場に発展していくことを期待したい。

(3) 中央公民館も建設工の年になるようです。めまぐるしく変わりつづ

ある社会に、何を生きがいとしていくか、いかに生きるかが、私達の学習課題であります。

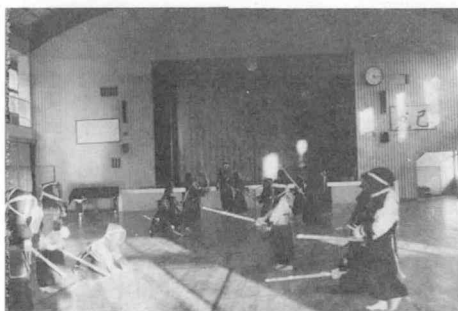
これから、運動やスポーツだけでなく、心も豊かにする文化グループももっと生まれ、講座も多くなり、みんなの生涯学習の機会が多くなりますよう、努力していきたいと思ひますので進んで参加されるよう希望いたします。

緑の週間
緑豊かな
町づくり
花を育て
ましよう



昭和53年度 田代町立小学校人事異動

退 職				転 入							
現在勤	氏 名	職名	転出先学校名	前 学 校 属 名	氏 名	職 名	転学 入 校 先 名	備 考			
田代中	上山 豊信	教頭		桜 山 中	新田やよ子	教 諭	田 代 中				
〃	桃木いく代	教諭		第一鹿通中	平野 達朗	〃	〃				
田代小	竹下美津子	講師		川内西 中	木場 昭徳	教 頭	〃				
大原小	西園 玲子	教諭			村上久美子	教 諭	〃	期 限 付			
転 出				中 良 小 <td>中野 博</td> <td>校 長</td> <td>田 代 小</td> <td colspan="2"></td>	中野 博	校 長	田 代 小				
田代中	溜池 玲子	教諭	宝 島 中	神 川 小	宮川 清文	教 諭	〃				
〃	上野 純子	〃	桜 山 中	大根占 小	磯長トミ子	〃	〃				
田代小	池田 知行	〃	安 納 小	旭 小	大内山真弓	〃	〃				
〃	安山 敏実	〃	大 里 小		吉川 仁美	〃	〃	新 採			
〃	西内真智子	〃	〃	文化センター	高原 篤行	教 頭	大 原 中				
〃	福山 涼代	〃	湯 田 小	竹之浦 中	瀬戸下一明	教 諭	〃				
大原中	平岡 末男	〃	川内北中	鹿児島南中	木佐木則江	〃	〃				
〃	榎木 康二	〃	大始良中	枕 崎 中	前鶴 三行	〃	〃				
〃	黒木 久枝	〃	末 吉 中	永 原 小	辻 薩男	教 頭	大 原 小				
〃	興儀 安隆	教頭	川辺南中	袖 山 小	落司 妙子	教 諭	〃				
大原小	屋島 満雄	〃	芦花部小		山本 淳子	養 教	〃	新 採			
〃	山下 文一	教諭	池之原小	桜 島 中	井上 洋一	社教主事	教育委員会				
〃	矢野 貞子	〃	吾 平 中	盈 進 小	久木野 求	教育主事	〃				
田代小	丸岡 浩	校長	桜 洲 小								
教 育 委員会	福留 俊	教諭	吉 松 小								

グループ紹介その2
田代小剣道スポーツ少年団

「剣道をおして学習に励み体力を練り礼を重んずる心を養い、なにごとにも最後まで頑張りとおす意志力の旺盛な心身共に健全な少年の育成をはかる」をモットーに。

この剣道スポーツ少年団は、昭和四十六年三月発足以来、今日まで、子ども達は先ばいの意志をうけつぎ、毎日放課後に体育館に集り、先生方（指導者・小榎正夫・川原三郎・浜蘭博臣）の指導のもとに練習に励んでいます。

技の成長はすばらしく、郡、県の少年剣道大会の試合にも、たびたび参加し、試合度胸も養い、昭和五十二年一月、なんぐう農協主催による大会で、小学生の部で優勝し、今年先ばいの中学二年の諸君が中学生の部で優勝しました。

「小さな親切」

運動本部から表彰

東中郡小組合（小組合長 中島照雄）は、今日まで、三十三年間一日もやまず、「火の用心」の夜まわりを続けておりますが、去る昭和五十三年二月二十五日、社団法人「小さな親切」運動本部から、全国的にも大変すぐれた行為を、しかも長期間続けているとして表彰をうけました。